

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 (1)	理念に掲げている『生きがいのある生活の支援』を利用者に提供しているかに視点を置いて、職員と振り返りをしてはいかがか。	職員全員に「生きがいのある生活の支援」について再度考えてもらい、聞き取り及び職員会議において検討する。	コロナ禍の為に一度に集まり職員全体からの意見を聞くのは難しい為、個々に伝え確認を行った。職員会議は当日出勤した職員で行った。その時に聞き取ったことも伝え、全員の意見として取り組むを行う。	3ヶ月
2	2 (2)	地域交流が難しい現状の中で、どのような取り組みや働きかけができるか検討してみたいかがか。	日々のケアを行う中、職員より聞き取りを行い、また、家族や本人から希望を聴き何が出来るか、検討する。	家族や本人からの希望もあり、手押し車や車椅子を利用して散歩に行き、近くで作業をされている人や散歩されている方たちと挨拶を交わしたり、お花を見て話をされたりして身近な交流を図っている。近くの小学校の子供たちも散歩時に遠くから見たり挨拶を交わしたりしている。	2ヶ月
3	6 (5)	玄関等の施錠について、現状を検証し、どのような場面で実践できるか、具体的に検討を始めてはいかがか。	玄関や中扉の施錠については、周囲のコロナ感染状況や、新しく入居された利用者様が落ち着いてこられたら、時間を決めて開錠を検討する。	入居された利用者様もホームでの生活に慣れてきたように思える。しかし、まだ十分ではない為、時間を決めて、開錠に向けて検討していく。	4ヶ月
4	26 (10)	理念に掲げている『生きがいのある(実感できる)生活』に視点を置いた計画と実践を検討してはいかがか。	利用者様の「生きがいのある生活」に視点を置き、本人が行えることや、やりたい事役割や他者の為に働くこと等を通して楽しさや、役立つことの嬉しさなど感じてもらう事により、生きがいにつなげていく。	利用者様個々の出来る事、やりたい事、役割などを本人より聞き取り、実践に繋げる。テーブル拭き、洗濯物干し、たたみなどの役割。床のモップ掛け等を通して役立つことの実感。また、好きな散歩や、ハーモニカの演奏等ケアプランにも反映させ「生きがいのある生活」につなげていく。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。